

特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる

## 平成 21 年度 事業報告

(平成 21 年 6 月 1 日～平成 22 年 5 月 31 日)

### 年間の活動のまとめ

杜の伝言板ゆるる（以下、ゆるる）にとってこの1年は、NPOが抱えるIT化の遅れを始め、財務諸表による信頼性確保、継続運営への事業化などの課題に対して、しっかり取り組んだ一方、現在増加している団塊世代の社会貢献活動への参画や青少年層へのNPO理解プログラムにも、これまでの経験を活かし取り組んだ。

また、全国的な取組みの企画の地元開催事業に協力体制を取ったが、地元団体が複数の場合の役割と責任の範囲が曖昧で、不満が残る事業もあった。事務局の体制を整備し、協力の見極めをする必要がある。

そして、NPOにとって財産である多くの“賛同の広がり”については、外に向かって実際に対面しながら会員や賛同者を募っていく人材がいないことが課題である。今後、スタッフ研修を充実し、自ら取り組む活動を評価する仕組みも検討する。

#### ■ ITサポート分野への新展開

特に、市民に対して共感を広げていくことで活動の発展が見込まれるNPOにとって広報力が不足している。とりわけインターネット活用型の広報に着手していない団体が多く、その活用の提案とともに技術指導が求められている。

そこで、NPOのIT化をサポートするために、既にIT支援をしているNPOの力を借りることで促進する計画を立て、IT支援NPOのネットワーク構築及び市民とNPOのIT普及事業を宮城県に提案した。幸い、ふるさと雇用再生特別基金事業に採択され、昨年7月から宮城県からの受託として展開している。

(詳細は 17 ページへ)

#### ■ みやぎNPOプラザの運営

2期2年目に行った指定管理業務は、職員の経験幅増加にあわせ、利用者への配慮及びサポート内容に厚みがでてきたことから、利用者の拡大とNPO間のつなぎ役として実績を残すことができた。

特に、秋に目の前の榴ヶ岡公園で開催される「みやぎの・まつり」に便乗する形で開催した「みやぎNPOプラザまつり」は、多くのNPOの力を結束し、市民からのNPO活動理解とともにNPOプラザの認知に大きく貢献した。

(詳細は 19 ページへ)

## ■NPO法人会計基準策定への参画

ゆるるが信頼を寄せ、NPO側に立った会計を教授頂いた故赤塚和俊氏の遺志を継いだ形のNPO法人会計基準は、全国のNPO支援センターや会計士・税理士の専門家、研究者などの力で最終案が出され、2010年7月20日の基準発表に至った。この一連の活動にゆるるとして、代表の大久保を専門委員として送り出し、旅費を持ち出しての取組みをした。

この間、宮城県内及び近隣県に呼びかけて学習会や意見交換会を開催し、基準作りの動きをNPOに周知したほか、パブリックコメント募集期間には、仙台にて意見交換会を2度にわたり開催した。

特に、メーリングを活用しての専門委員の作業にいたっては、よりNPOに理解しやすいように作成した「Q&A」に関しては、1000件ものメールのやり取りがあった賜物である。

(詳細は、13ページへ)

## ■シニア世代と青少年層の社会参加

団塊世代が定年後、第2の職場をリタイヤする時期になり、最近は、コミュニティビジネスに関心を示すシニア層が増加している。そのシニアの方々が、NPOを選択するための仕掛けとして、以前より取り組んできたのがNPO訪問バスツアー、ろうきんとの協働によるNPOパートナーシップ制度、そして2009年1月より、みやぎNPOプラザの事業として提案した50歳からのNPO実践塾、を実施してきた。

事業成果としては、学んだあとに、自らNPOを選択し、活動に踏み出すことで、評価される。その意味では、それぞれがリンクし、相乗効果が出た。

一方、2003年から始めた高校生がボランティア体験をすることで、NPOを理解する高校生の夏ボラ体験は、2009年で7年目を数え、事前学習会必須とボランティア3日体験は定着してきている。

(詳細は、10ページへ)

## ■組織の課題

月刊杜の伝言板ゆるるの発行体制の改善と、組織力の強化を目標に上げて取り組んだが、思うような結果が出せていない。

特に、編集者を増やすことを念頭に取り組んだ市民ライター養成講座は、受講者には好評だったものの、その後の発展に着手できなかった。

しかし、内部の移動で、4月より編集経験があるスタッフを登用し、徐々に体制作りへ向けて動き出している。

また、前年に続き、「会員の拡大」は足踏み状態である。最終段階にある団体パンフレットを完成し、月刊ゆるるの協賛広告とともに会員勧誘にも力を入れる必要がある。

## 組織運営に関する事項

### 1. 総会の開催

平成 21 年度定時総会を開催

開催日時：平成 21 年 8 月 9 日(日) 14:00～15:30

場所：みやぎNPOプラザ

議案：20 年度事業報告及び決算

21 年度事業計画及び予算

### 2. 理事会の開催

(1) 理事会開催 年間 12 回開催

	開催日		開催日
第59回	6月10日(水)	第65回	12月25日(金)
第60回	7月4日(土)	第66回	1月15日(金)
第61回	7月23日(木)	第67回	2月22日(月)
第62回	9月9日(水)	第68回	3月17日(水)
第63回	10月20日(水)	第69回	4月19日(月)
第64回	11月20日(水)	第70回	5月17日(月)

(2) 理事合宿 7 月 4 日～5 日

### 3. 会議

(1) スタッフミーティング 毎月第 1 月曜日 12 回

事務局スタッフ及び NPO プラザスタッフ合同の研修・打合せ

開催日：6 月 8 日 7 月 6 日 8 月 3 日 9 月 7 日 9 月 28 日 11 月 2 日

12 月 7 日 1 月 4 日 2 月 1 日 3 月 1 日 4 月 5 日 5 月 10 日

(2) 編集会議 10 回 (6/10 7/16 8/5 9/19 11/6 12/16 1/6 2/5 3/10 5/7)

この他、メールでの情報共有を図った。

(3) 事務局会議 5 回 (6/15 7/23 8/11 8/31 9/18 )

他 スタッフ全体ミーティング前後や事業担当者と個別に随時 実施

(4) プラザ運営主任打合せ 検討事項が発生した時点で随時打合せを行った。

### 4. 会員 (2010 年 5 月 31 日現在)

正 会 員 39 団体・個人

賛助会員 17 団体・個人

情報会員 78 団体・個人

5. 事務局職員体制 (2010年5月31日現在)

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局 (宮城野区榴岡 3-11-6)

杜の伝言板ゆるる代表理事：大久保朝江

常勤職員：池田節子 (NPO プラザ兼務)・菅原牧枝・小林しのぶ

非常勤職員：中村雅明

(2) みやぎ NPO プラザ勤務 (宮城野区榴ヶ岡 5)

館長：大久保朝江

常勤職員：堀川晴代・荘司紗敏・庄司真希・佐藤明日香

清野利之・藤川佳三・齋藤真利男

非常勤職員：中村雅明・池田節子

6. 職員研修

(1) 研修

役割に応じた研修に参加し、それぞれのスキルアップを図った。

総数 20 回 延べ 46 名

日時	研修名
6月18日	NPO 支援センター初任者研修会(1名)
6月25日	みやぎ NPO プラザ・NPO 支援センター研修(5名)
9月10日	みやぎ NPO プラザ・NPO 支援センター研修(5名)
10月6日	NPO 法人会計基準意見交換会(1名)
11月10日	NPO 活動推進フォーラムやまがた大会(1名)
11月14・21・28日	実践！プロに学ぶ市民ライター養成講座(5名)
11月17日・30日	ボランティア活動支援業務担当者向け研修(1名)
11月30日	地域の NPO 支援センタースタッフのための研修会(1名)
1月15日	みやぎ NPO プラザ・NPO 支援センター研修(6名)
1月30日	SPREAD 情報セキュリティサポーター検定講座(5名)
2月5日	地域の NPO 支援センタースタッフのための研修会(1名)
2月9日	Microsoft NPODay 2010(1名)
2月10日	NPO のための広報スキルアップセミナー(1名)
3月8日	NPO と行政の協働促進に関する研修会(1名)
3月9日	NPO のための会計税務講座(2名)
3月10日	H21 年度ボランティア・市民活動ネットワーク会議(1名)
3月15日	仙台圏中間支援組織連携会議(1名)
3月17日	支援組織若手意見交換会(3名)
5月11日	情報ネット運営講習(3名)
5月21日	仙台市シニア活動支援センター推進ネットワーク活用情報交換会(1名)

## (2) ボランティア1日体験

7/31～8/26 スタッフ7人が下記の8団体にて1日ボランティア体験を実施。

実施日	体験先
7月31日(金)	NPO法人いしのまきNPOセンター(石巻市NPO支援オフィス)
8月2日(日)	名取ハマボウフウの会
8月6日(木)	NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク (仙台市海岸公園冒険広場)
8月7日(金)	宮城県善意通訳者の会 仙台駅構内 INFO ブース
8月9日(日)	NPO法人オープンハート・あったか(感覚ミュージアム)
8月14日(金)	NPO法人萌友
8月18日(火)	NPO法人グループゆう
8月26日(木)	NPO法人どんぐりの家(登米市南方)

## 7. ボランティア

事務局及びNPOプラザにて6人のボランティアを受け入れ、212時間の協力を得た。

	月刊ゆるる		NPOプラザ			計
	データ入力	発送	プラザ祭り	講座	プランナーケア	
有馬 昭洋	78	25	7			110
吉田 昭雄		23				23
鈴木 広明		17				17
平野 明		10.5				10.5
今部 俊江					34	34
山田 麻衣子			7.5	10		17.5
計	78	75.5	14.5	10	34	212

※今部さん、山田さん 2009. 09～  
総時間数:212時間

## 8. 研修受け入れ

- ・ 宮城県教員10年研修として1名を受入

期間:7月12,29～30日 受入場所:ゆるる事務局及びNPOプラザ

## 9. 他団体との連携や協働の推進

### (1) 会員として連携

- ① NPO法人地域創造ネットワーク・ジャパン
- ② NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- ③ NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク(総会出席9/5 開催地:金沢)
- ④ NPO法人日本NPOセンター
- ⑤ NPO法人シーズ=市民活動を支える制度をつくる会
- ⑥ NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会(連絡会出席:10/1)
- ⑦ NPO会計基準策定協議会(総会出席:11/14 2/2 4/8)

### (2) 委員や事業等

- ① 地域創造ネットワーク・ジャパン  
事業名:ライフサポーター養成講座(11/30～12/2)

- ② NPO 法人日本NPOセンター  
NPO Day 地域別ミーティング会議 (5/19)  
CEO会議に出席 (5/27~28)
- ③ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター  
評議員 会議出席：10/6 4/22  
NPO 法人会計基準中間報告会で連携
- ④ NPO 法人せんだい杜の子ども劇場 評議員
- ⑤ NPO 法人みやぎ宅老連絡会  
介護施設評価事業会議委員 (3/10)
- ⑥ 宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター  
月刊杜の伝言板ゆるる「こ・ら・ぼ」ページを協働発行
- ⑦ 東北労働金庫  
高校生の夏ボラ体験パンフレットに協賛広告掲載ほか、ろうきんNPOパートナーシップ制度で協働。NPO訪問バスツアーで協力を得る。
- ⑧ 東北 NPO 支援センター連絡会  
情報交換及び交流 (6/10 7/3 10/16 2/19)
- ⑨ かほく「108」クラブ  
かほく 108 ファンドの募集告知協力や助成金審査会に審査員として出席 (5/13)  
高校生の夏ボラ体験に共催団体としてかほく「108」クラブから資金提供あり。
- ⑩ NPO 会計基準策定協議会  
NPO 法人会計基準策定委員会の下の会計基準専門委員として基準作りに参画  
総会、及び策定委員会、専門委員会に出席
- ⑪ NPO 日本ネットワークセキュリティ協会  
情報セキュリティセミナー開催 (1/30)  
SPREAD 協働団体会議 (2月15日)

## 10. 組織の広報及び理解促進

### (1) ホームページ等の運用

- ①ホームページ <http://www.yururu.com/> を活用し、組織の情報公開を進めたほか、実施事業や求人情報を随時掲載した。
- ②事務局ブログ (CANPAN) 4月13日より開設

### (2) 事務局通信を発行

目的：事務局で常に動いている事業について、会員の方々にご理解いただくために発行している。トップページに「理事からの言葉」を設け、団体の『顔』がよく見えるように努め、団体の存在意義を知らせる貴重な場とする。

発行日：奇数月発行 (年6回 7月・9月・11月・1月・3月・5月)

発行部数：約200部

発送先：正会員・賛助会員・情報会員

掲載内容	<p>7月号 理事の言葉「この一年を振り返って思うこと」 P2 ～3 研修報告・夏ボラ、ろうきんパートナーシップ等</p> <p>9月号 理事の言葉「NPO 支援の模索」 P2 ～3 実践塾三期開講、IT 支援 NPO ネットワーク宮城始動等</p> <p>11月号 理事の言葉「自分の居場所」 P2 ～3 NPO 訪問バスツアー・みやぎ NPO まつり 2009 等</p> <p>1月号 理事の言葉「謹賀新年」 P2 ～3 市民ライター養成講座・NPO 法人会計基準ゆるるの取組み等</p> <p>3月号 理事の言葉「外から日本を見てみよう」 P2 ～3 研修報告・情報セキュリティ検定講座等</p> <p>5月号 理事の言葉「宮城県内企業と NPO の動向調査から」 P2 ～3 会計基準「最終案」の発表・新スタッフ紹介等</p>
成果課題	<p>「月刊ゆるる」や「One to One」(みやぎ NPO プラザ編集)の誌面上ではあまり登場しない、ゆるるが実施している活動の動き等を会員の皆様に知らせするツールとなっている。</p>

### (3) メディアでの広報

以下の媒体で取り上げられた。

- ・ H21年7月19日 河北新報夕刊 高校生の夏ボラ事前学習会紹介記事
- ・ H21年10月5日 河北新報朝刊 みやぎ NPO プラザまつり紹介記事
- ・ H21年12月10日 河北新報朝刊 NPO 法人会計基準全国キャラバン紹介記事
- ・ H22年1月5日 河北新報夕刊 高校生の夏ボラ体験談紹介記事
- ・ H22年1月25日 東北放送「週刊とれたて！みやぎ」で NPO プラザの紹介
- ・ H22年1月30日 河北新報朝刊 みやぎ NPO プラザ入居団体募集紹介記事

## 活動に関する事項

### 1. 情報収集と提供

#### (1) 月刊杜の伝言板ゆるる発行

編集・発行	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目的	地域のボランティア・市民活動団体・NPO の活動をより多くの市民に知らせ、活動に踏み出すきっかけとなるよう、また、企業や行政がこれらの活動を理解し、協働に繋がるよう、多様な分野の情報発信を支援している。
発行形態・部数	A4版 16 ページ 8,000 部 発行日:毎月 1 日 発送日:毎月月末
配布先	約 390 箇所 仙台市内の全市民センター・各区図書館・主な公共施設。宮城県内、各 NPO 支援センター、各地方振興事務所、全社会福祉協議会、全高等学校、大学、福祉系専門学校他
掲載内容	下記参照
デザイン等	表紙デザイン:千葉起世 西ノ村真由子(旧姓大林) ページレイアウト:座間智美 伊藤郁恵 堀江恵理子 板持留美子
協賛広告	東北労働金庫宮城県本部 かほく「108」クラブ NPO 法人職人集団住改善
成果・課題	地域のボランティア活動・NPO・市民活動団体への広報の場や、助成金情報を定期的に提供することができた。 課題としては、会員の高齢化による会員数減少が目立つため、さらに配布先の拡大や、有料広告募集に力を入れて周知に努め、会員増加、支援団体の拡大などへの更なる努力が求められる。

#### 【掲載内容】

	特集	トピック	トピック	掲載数	
				info	助成金
6月号	中高生の居場所「のびすく泉中央」がオープン	☆みやぎ NPO 夢ファンド今年の助成団体はここ！	☆社員の寄付が助成金にかほく108ファンド	33	6
7月号	みやぎのNPOの実態は？平成20年度宮城県NPO活動実態・意向調査から	☆岩手・宮城内陸地震から一年	☆NPOで高校生の夏ボラ体験2009	34	6
8月号	NPOで高校生の夏ボラ体験2009ことしもスタート！！	☆「かえっこ」で「エコ」	☆東北ろうきん「NPOパートナーシップ制度」でNPOと協働	33	6
9月号	NPOで高校生の夏ボラ体験2009涼しい夏の熱い体験！	☆どんな時でも大丈夫	☆ゆるる談議「NPOはメディアをうまく使っている？」～気づきと願い～	32	5
10月号	放課後は子どもにとって大切な時間	☆五感で体感する世界 せんだい地球フェスタ2009～大切な地球、愛、大切な友達～	☆10月12日はオータムセミナーに行こう！	37	7
11月号	今年の秋もジェンダーの視点で	☆せんだい CARES2009 が始まりました！	☆みんなでPC力をパワーアップ！ICT支援NPOネットワーク宮城を結成	36	6
12月号	路上生活者の冬	☆「さをり織り」の世界観を広めた！～「さをり本舗 ねこや」の願い～	☆記憶がつなぐ心と心 20世紀アーカイブ仙台	34	5
1月号	ますますイキイキ！アクティブ・シニアの社会参加	☆子どもたちにお菓子のプレゼント～株式優待品の寄贈～	☆おめでとう！NPO法人ワンファミリー仙台にみやぎ社会貢献大賞	34	5



2月号	好きな事を仕事に！ いきいきと働くNPO若手スタッフ	☆みやぎNPO夢ファンド 中間報告会 助成金と共に得られたもの	☆訪問記 NPO法人 鳴子の米プロジェクトの「むすびや」	37	6
3月号	子どもを第一に考えた保育 NPOが運営するせんだい保育室	☆EPO 東北ってどんなところ？	☆大規模災害でのボランティアによる支援活動の更なる発展に向けて	33	8
4月号	子どもたちに明るい未来を アマニ・ヤ・アフリカの取り組み	☆お父さんたちによる父子手帳 伊達なパパ本を作成しました。	☆こころの支援をめぐって	37	6
5月号	写真集+DVD「クラシカル センダイ」を発刊 ～アマチュアカメラマンが映した懐かしい昭和時代の仙台～ NPO法人 20世紀アーカイブ仙台	☆自然の「環」から人の「和」を育てよう NPO法人 森は海の恋人	☆NPOが初受賞！こだわりぬいた贅沢な味 NPO法人 福祉ネットABC	36	5
6月号	緊張が笑顔に変わるとき・・・ 何かが生まれる熱い季節 NPOで高校生の夏ボラ体験 2010 参加申込受付開始！	☆子ども育成支援の活動を応援します！ かほく「108」ファンド	☆決して「夢」で終わらせない！～みやぎNPO夢ファンド 公開コンペ開催～	29	6
情報掲載件数総数				445	77

## 2. 情報支援・交流

### (1) 情報発信支援

#### ① 情報発送支援

毎月発送する情報誌の封筒にNPOの情報発信の機会として同封した。

発送月	団体名	チラシの内容	主催団体との関係	
21年	6月	せんだい杜の子ども劇場 宮城県保健福祉部社会福祉課	西遊記(舞台劇) 福祉活動の道先案内人派遣事業	正会員 支援・協力団体
	7月	東北労働金庫	ろうきん地域貢献ファンド応募の案内	支援・協力団体
	8月	なし		
	9月	せんだい・みやぎNPOセンター	ふくふくファンド・みんなファンド	正会員
	10月	(財)愛知揆一福祉振興会	みやぎ社会貢献大賞	正会員
		せんだい杜の子ども劇場	ママ・パパライン仙台	正会員
	11月	なし		
	12月	せんだい杜の子ども劇場	杜の子まつり	正会員
22年	1月	なし		
	2月	県社協みやぎボランティア総合センター	「災害シンポジウム」	正会員
		宮城県 せんだい・みやぎNPOセンター	みやぎ夢ファンド応募相談会	支援・協力団体 正会員
		総務省	オンライン申請講習会開催	支援・協力団体
		せんだい杜の子ども劇場	ママ・パパライン仙台	正会員
	3月	社会貢献 かほく「108」クラブ	かほく「108」ファンド	賛助会員
		住改善リフォーム相談室	内装リフォーム大感謝際	正会員
	4月	なし		
5月	なし			

② NPO に関する冊子類販売

冊誌名	発行者(団体)	内容
NPO会計マニュアル	NPO法人 杜の伝言板ゆるる	簿記の知識も、経理の経験もない人が会計担当になったとき、「これだけは知っておきたい」NPO会計の基礎
NPO会計日誌	NPO支援東京会議	「現金出納帳記入欄」「預金出納帳記入欄」があり、資金が動いた日に1頁を使い記録しておく。領収書添付欄もある。
知っておきたいNPOのこと「増補版」	NPO法人 日本NPOセンター	「信頼されるNPOの7つの条件」と「基礎知識Q&A」などNPOを理解できる情報が満載
知っておきたいNPOのこと「協働編」	NPO法人 日本NPOセンター	「行政と協働するNPOの姿勢」「NPOと協働する行政職員の姿勢」をそれぞれの視点から掲載
NPOのためのアドボガシー読本	NPO法人 市民活動センター神戸	「社会的課題を解決するために働きかけること」を【アドボガシー】の定義とし、市民を動かし、行政や議会に政策を提言する力をつけるために必要なものを探る
MPOの会議、こうすればうまくいく	NPO法人茨城NPOセンター コモンズ	効率的な会議を行うための準備からレイアウト、進行や事後管理まですぐに使えるアイデアを掲載。NPOに限らず、様々な会議の場でも役立つ
NPO法人VS新公益法人	NPO法人シーズ・市民活動を支える制度を作る会	NPO法人と新公益法人、認定NPO法人を手続き、組織、税制面で徹底比較し、法人選択のポイントを教えている
NPO・NGOのためのCSR入門	社会福祉法人 大阪ボランティア協会	「企業の社会的責任(CSR)」を知り、活動に役立てて欲しいという思いから豊富な事例と共にQ&A方式で分かり易く解説してある。
会計王NPO Limited	ソリマチ株式会社	NPO法人会計に精通した税理士・公認会計士監修によるNPO法人専用会計ソフト。

(2) 交流

① ゆるる談議「NPOはメディアをうまく活用している？」

日時：2009年8月9日(日) 15:30~17:00

会場：みやぎNPOプラザ リストランテ歩° 歩°

ゲスト：寺島英弥氏(河北新報社編集局次長兼生活文化部長)

佐藤和文氏(河北新報社メディア局局长)

関本英太郎氏(東北大学大学院情報科学研究科教授)

聞き手：大久保朝江((特活)杜の伝言板ゆるる代表理事)

参加人数：22名

市民が情報発信していくことに深くかかわってきた寺島さんのお話を聞き、今、NPOが市民に向けてどう発信しているか、メディアをうまく使いこなせているか、を考えた。紙媒体より、ネット活用の実態や提案などの話が多く、新聞というツールを使って発信したいNPOにとって、もっと聞きたいと声も聞かれた。会場は、グループゆうが運営するレストランだったことで、和やかな談議となった。

3. 講座・研修等の企画運営

① 高校生夏ボラ体験2009(7月~8月)

事業名	NPOで高校生の夏ボラ体験2009
主催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
共催	かほく「108」クラブ

協 賛	河北新報社グループ 13 社 東北労働金庫
後 援	宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 名取市教育委員会 大河原町教育委員会 石巻市教育委員会 東松島市教育委員会 大崎市教育委員会 登米市教育委員会
目 的	地域の次世代の担い手となる高校生が、NPOでボランティア体験することで、地域を支えている市民主体のNPO活動を知り、その多様性などの理解促進と共に、地域が持つ課題に気づく機会とする。また、学校という管理下にありながら、ある程度の自己決定できる環境を持っていることで、自由意志のもとに決定したNPOでのボランティア体験を通じ、自ら考えること、社会貢献の意思のめばえにつながることを期待する。
実施概要	開催期間：2009年7月21日～8月23日 対象者：宮城県内の高校生 事前学習会：・7月12日（日）13：00～16：00 エルソーラ仙台 ・7月19日（日）13：00～16：00 エルソーラ仙台 ・7月19日（日）13：00～16：00 大崎市市民活動サポートセンター 体験談集発行：平成21年12月1日 参加者数：105名（応募者169名） 参加高校：29校 受入NPO数：25団体
成 果	2008年度に導入した3日間体験プログラムが好評だったことを受け、ほとんどの体験プログラムを3日間とし募集要項を作成。宮城県内の全高校へ配布した。参加した高校生からは、3日間を通して活動に参加したことでNPOの活動に対する理解や関心が深まったという体験談が多く提出された。 参加者の中には、将来の夢と関連させて体験に望んでいる高校生が目立った。自主的に課題解決へと取り組むNPOでのボランティア体験は、学校の授業では学ぶことの出来ない経験となる。本事業は将来への一歩へ貢献する機会を提供できる良い機会となった。 かほく「108」クラブと共催したことによる効果については、河北新報社が運営する地域SNS「ふらっと」のトップページにバナーを作成してもらい広報が強化されたこと、高校生のみならず一般にも当団体や夏ボラに参加するNPOについての認知度が上がったことが挙げられる。企業にとっても、普段関わりの少ない高校生へ、河北新報や「ふらっと」への認知度がアップしたほか、NPOと協働で青少年育成に取り組む企業として社会貢献度が上がったことが効果として挙げられる。

※ 残念ながら大崎市においては、模倣したプログラムが出現し、混乱を招いた。特に、その企画内で実施されたボランティアの概念を学ぶ学習に、全く未経験なスタッフの間違った情報が提供されたことを確認し、高校生の価値観を左右する内容であったことから、主催である大崎市に抗議した。後日、実施団体に対して注意をする旨、口頭で回答を得た。

② 第 8 回 N P O 訪問バスツアー ( 9 月 26 日 )

事業名	第 8 回 N P O 訪問バスツアー
主催 共催 協力	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 社会貢献 かほく「108」クラブ 東北労働金庫宮城県本部
目的	N P O や市民活動団体が実際に活動している現場を訪問し、活動への理解を深め、参加や協賛につなげることで、地域の生活環境の向上に発展していくことを目的とする。
実施概要	開催日時：平成 2 1 年 9 月 2 6 日 ( 土 ) 9 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0 訪問 N P O : ビートスイッチ『恐竜やま』( 太白区八木山 ) 仙台夜まわりグループ ( 五橋公園 ) グループゆう『リストランテ歩° 歩° 』( 宮城野区榴ヶ岡 ) FOR YOU にこにこの家 ( 太白区四郎丸 ) 募集人数：20 名 参加対象：N P O や市民活動に関心のある市民 参加費：2500 円 ( 昼食代含む ) 参加人数：21 名 今年度は「ふれあい福祉バス」( 無料福祉バス ) の抽選にはずれたため、バス会社のマイクロバスを借り実施。 仙台市内の 4 つの N P O を訪問。各 N P O の代表や実際に活動しているスタッフの方から話を聞いた。 訪問終了後は、みやぎ N P O プラザで懇談会を持ち、アンケートを記入。
成果・課題	今年度は、実際の活動を見学する事により、ツアー終了後、見学した N P O の会員になる人、物資を寄付したりする人、ボランティア活動に参加する人も現れて、活動の理解を深めるにはまたとない機会を設けることができた。 また各 N P O にとっても、自分達の活動を市民へ周知する機会を与えることができた。

③ 市民ライター養成講座 ( みやぎ県民大学自主企画講座 委託者：宮城県 )

事業名	みやぎ県民大学「自主企画講座」 【実践！プロに学ぶ市民ライター養成講座】(宮城県からの受託事業)
主催	宮城県教育委員会
企画実施	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目的	市民ライターとして、地域を取材するための必要なノウハウを第一線で活躍するプロの講師から学び、後に「月刊ゆるる」への参画を視野に入れる。
実施概要	実施日時：平成 2 1 年 1 1 月 1 4 日・2 1 日・2 8 日 ( 土 ) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 ※ 三回連続 参加対象：一般県民でシニア世代 ( デジカメを控え、講座に持参できる方 ) 参加費：無料 募集人数：30 人 実施内容：①「取材テクニックのコツ」 講師：南條成子さん ( フリーライター ) ②「ライティング技術を学ぶ」 講師：南條成子さん ( フリーライター ) ③「伝わる写真の写し方」「修了式」 講師：佐々木 隆二さん ( フリーカメラマン ) 参加人数：29 名
成果課題	取材をして記事を書く事や自分の思いを伝えるための写真の取り方を学ぶことで情報を発信するという楽しさを理解した。 月刊ゆるるでの取材や原稿書きへ興味を持つ参加者も出たが、実際に編集に引き込む仕掛けが弱く、編集にかかわる人事は出なかった。

#### 4. 調査研究及び資料等の発行

##### (1) NPO 法人会計基準策定への取組み

2009年3月から始まった NPO 法人会計基準策定に向けて、ゆるる代表の大久保が専門委員を担い、基準作りに取り組んできた。

下記の会議に参加し、緊急集会及び学習会等を開催した。

開催日	会議及び催事名
7月31日	NPO 法人会計基準策定委員会オブザーバー参加
8月28日	NPO 法人会計基準専門委員会
9月30日	NPO 法人会計基準策定委員会オブザーバー参加
10月6日	NPO 法人会計基準意見交換会開催(仙台)
10月23日	NPO 法人会計基準策定専門委員会
11月14日	NPO 法人会計基準協議会
12月8日	NPO 法人会計基準策定プロジェクト全国キャラバン in みやぎ
12月19日	NPO 法人会計基準策定委員会専門委員会
1月18日	NPO 法人会計基準専門委員会
2月2日	NPO 法人会計基準協議会臨時総会
3月14日	日本 NPO 学会にて発表
3月16日	NPO 法人会計基準専門委員会
3月30日	NPO 法人会計基準策定委員会オブザーバー参加
4月8日	NPO 法人会計基準協議会総会
4月27日	NPO 法人会計基準策定専門委員会

催事名	NPO法人会計基準全国キャラバン in みやぎ 緊急集会 みんなでつくる NPO 法人会計基準 とことん聞きます！みんなの意見
日時	12月8日(火) 13:30~16:00
主催者	NPO法人杜の伝言板ゆるる、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、 NPO法人会計基準策定協議会
参加者数	45名(一般参加者 34名、スタッフ 11名)
内容	「NPO法人会計基準策定協議会」が推進する中間報告と共に、宮城・東北の NPO や専門家の意見交換の場となる集会を開催。 第1部 NPO法人会計基準中間報告会 報告 瀧谷 和隆氏(NPO法人会計基準策定委員) 第2部 意見交換ワークショップ
実施結果	協議会から提供された NPO 法人会計基準素案を資料として配布。 論点ごとにテーブルを分け、協議会メンバーの瀧谷氏、加藤哲夫氏、大久保朝 江のほか、専門委員の成田由加里氏、平野由紀子氏がコーディネータとして、 参加者からの意見を引き出した。 参加者の属性は、NPO、行政、会計士や税理士、大学研究者などが参加した。 出された意見は、パブリックコメントとして、NPO 法人会計基準協議会事務局 に送られたほか、各自、ネット上の意見入力を実施した。 参加費は徴収しなかったが、協議会への寄付が 22,500 円寄せられ、事務局で ある、シーズ市民活動を支える会に納めた。

- ・ 3月14日、京都市で開催の「日本NPO学会」で、ゆるる代表の大久保が、宮城におけるNPO法人の財務諸表の実態調査（設立後約10年、及び約5年の各100法人を調査）を発表。NPO法人会計の必要性を話す。
- ・ 4月8日、NPO法人会計基準協議会総会で、最終案を発表。意見を聴くイベント（東京）にてパネラーとしてゆるる代表の大久保が登壇した。

## (2) 資料等の発行

高校生の夏ボラ体験の参加者から体験談を集め、体験談集を400部作成、発行。

## 5. 講師等の派遣

### (1) 講師等派遣

行政やNPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO等に関する講演や研修などの講師をした。

実施日	会場	主催		テーマ
6月27日	東北福祉大学	東北福祉大学	ボランティア論	NPO法人のつくり方
6月30日	教員研修センター	宮城県教育委員会	高等学校初任者研修・一般研修	NPO活動について
7月14日	宮城県村田高校	宮城県村田高校	社会人講和	NPOとボランティアの話
9月16日	サンプラザ	若林倫理法人会	例会	NPOとは・・・～杜の伝言板ゆるるの事例から紐解く～
9月17日	みやぎNPOプラザ	宮城県(みやぎNPOプラザ)	NPOマネジメント講座	定款からつくるNPO法人設立講座
11月18日	生涯学習センター	宮城県教育委員会	みやぎ県民大学 生涯学習支援者養成講座・入門編	組織マネジメントの視点
11月19日	柴田町庁舎	宮城県(みやぎNPOプラザ)	NPOマネジメント講座	つくる前に考える！NPO法人設立基礎講座 in 柴田
11月20日	台原老人福祉センター	シニアネットクラブ仙台	学習会	高齢者に対する分かりやすい話し方
12月1日	地域創造ネットワークジャパン		ライフサポーター養成講座	
2月17日	グリーンピア岩沼	宮城いきいき学園仙南校	コーディネータ	ボランティア活動
2月24日	山元町公民館	山元町	指定管理者制度学習会	NPO法人と指定管理者
3月8日	宮城県庁	宮城県	県NPOと行政の協働促進研修会	共に考えよう！NPOと行政の協働！
3月23日	茂庭荘	太白区倫理法人会	例会	NPOとゆるる
4月15日	みやぎNPOプラザ	宮城県社協	市町村社協ボランティアコーディネーター研修	ボランティア・市民活動支援における情報誌発行講座
4月16日	みやぎNPOプラザ	宮城県(みやぎNPOプラザ)	マネジメント講座講師	安心して総会をむかえるために
4月22日	いずみタピオ	泉区タピオ大学		情報誌の作り方
5月19日	第2合同庁舎	東北行政管理評価局	さわやか行政サービス推進協議会	行政とNPOとの協働に向けて～ユーザーは市民～
5月25日	みやぎNPOプラザ	宮城県(みやぎNPOプラザ)	マネジメント講座講師	行政職員のためのNPO理解講座～NPOを知る！協働を知る！～

## (2) 審議会・委員会等の委員

行政等の審議会や委員会、評議会などの委員として、市民活動・NPOの立場から提言を行っている。

- ① 国：東北管区行政評価局行政評価懇談会（2/23）
- ② 宮城県：宮城県民間非営利活動促進委員会  
（7/17 8/26 10/5 1/22 5/31）  
みやぎNPO夢ファンド運用委員会(審査会含)  
（1/9 4/10 5/8）
- ③ その他： せんだい男女共同参画財団評議員会（3/25 5/24）  
仙台国際交流協会評議員会（3/29 5/25）  
せんだい豊齢学園運営委員会（12/14）  
宮城県商工会連合会小規模事業広域活性化事業委員会（5/28）

## (3) 助成金等審査員

- みやぎNPO夢ファンド審査会（1/10 4/11 5/9）
- せんだい男女共同参画財団助成金審査委員会及び審査会  
（6/5 6/13 1/20 1/26 5/31 5/6）
- 仙台国際交流協会助成金審査会（6/16 9/15 12/16）
- 企業社会貢献事業かほく108ファンド審査員（5/13）
- 愛知揆一福祉振興会みやぎ社会福祉大賞審査会（9/8 9/24 11/9 12/2 12/18）

## 6. 相談・ヒアリング

- ヒアリング： 8月20日 東北大学生ヒアリング対応
- 9月16日 明治大学生ヒアリング来訪
- 5月6日 河北新報社大和田氏取材で来訪
- 8月21日 (独法)中小企業基盤整備機構

みやぎNPOプラザの指定管理業務として毎週水曜日にNPO運営・法人設立相談に対応

## 7. 市民団体等に対する支援

全分野のボランティア育成、IT環境整備、情報発信代行、NPO理解につながる企画事業などを実施。

### (1) ろうきんNPOパートナーシップ制度 2009(主催：東北労働金庫)

事業名	ろうきんパートナーシップ制度
主催	東北労働金庫
協力	東北地区 NPO 支援センター 【宮城県】 杜の伝言板ゆるる せんだい・みやぎ NPO センター
目的	東北労働金庫と東北地区 NPO 支援センターの『協働事業』として、「ボランティア活動に興味はあるけど、どこに行けば良いかわからない」というニーズに応えるべく企画。退職を控えた方が NPO 等でのボランティア活動を応援すると共に、地域社会への参画や新たな出会いをもたらし、地域での生きがいをサポートするもの。
実施概要	東北地区 NPO 支援センター連絡会議を開催し、企画・実施 第1回 7月3日(金) 第2回 10月16日(金) 第3回 2月19日(金) 対象者 : ろうきん友の会会員等を退職者 休日等を利用しNPOで活動をしたい希望者 実施期間 : 8月～12月25日までの5日間以内 活動補助 : 活動に係る日当・交通費・食費等の支給はなし。 ボランティア保険はろうきんで負担。 募集人数 : 120人(東北6県各県20名定員) 受入団体 : ビートスイッチ・FOR YOU にこにこの家・麦の会・ゆうあんどあい ・仙台夜まわりグループ・蔵王のブナと水を守る会・広瀬川市民会議 せんだい・みやぎ NPO センター 参加者数 : 10名
成果課題	宮城県内の活動者10名のうち、ゆるるを通じて8名の参加があった。みやぎ NPO プラザで開講している「50歳からの NPO 実践塾」の塾生の参加が大きかった。1ヶ所だけの体験にとどまらず、数ヶ所での体験を希望する人がいたり、その後も活動した団体で継続してボランティアをする人もおり、成果は上がっている。本来のろうきん友の会会員の参加が少なく、課題が残った。



(2) IT化支援NPOのネットワーク事業（委託者：宮城県）


事業名	IT化支援NPOのネットワーク構築事業（平成21年度） IT化支援NPOのネットワーク運営事業（平成22年度）
主催	宮城県（企画部情報政策課情報化推進班）
企画実施	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目的	一般県民やNPOへのIT技術のサポートをするために、IT支援を目的とするNPOとのネットワークを構築する。構築されたネットワークを活用し、県民の情報リテラシーの向上を図る
実施概要	<p>①IT化支援NPOネットワーク事務局設置及び運営 事業説明会を開催しネットワークを構築。順次参加団体を増やした。 開催日：平成21年8月21日（金）14:00～16:00 参加団体4団体 ネットワーク参加団体数：11団体（仙台7、石巻2、栗原1、登米1）5/31現在（事務局を含む）</p> <p>②IT化支援NPOのIT指導者のスキル向上業務の実施 ・ITスキル向上講習会の開催 開催日程：平成21年10月～平成22年5月 開催状況：平成21年度 4開催（4時間×2日）延べ55名 平成22年度 2回実施（5/31現在）延べ20名 対象者：IT支援NPO団体所属のメンバー（主にメインやサブ講師を担当） ・マイクロソフトICT検定の実施 実施回数16回 受検者数36名 →認定取得 達人4名、名人11名、上級17名、中級4名 ・ICTマスター認定研修会の実施 2回 参加者：12名 → 全員合格</p> <p>③県内各市町村におけるIT化支援活動の状況や需要に関する調査 ・パソコン環境がある市町村 東松島市（27台）、石巻市（33台）、大崎市（20台） ・平成22年度市町村主催のパソコン講座開催予定を調査 市町村9ヶ所 （石巻市、登米市、松島町、南三陸町、女川町、柴田町、色麻町、村田町、丸森町）</p>
成果	<p>ふるさと雇用再生特別基金を活用し、県内のIT化支援NPOの構築と運営を県より平成21年7月受託し、8月より実施。NPOや一般県民へのIT技術のサポートをするために、IT支援を目的とするNPOとのネットワークを構築した。ネットワーク参加団体の指導的立場になるメンバーのスキルアップを行い、新たに12名のICTマスターが誕生し、講師体制を整えることができた。</p> <p>県内のIT支援NPOの実態把握が不十分であるため、県内IT活動環境の現状調査を行った。各市町村のパソコン環境は機材が古く、利用者のニーズに応えられないことから主催も減少しており、厳しい現状がわかった。</p> <p>ネットワーク参加の可能性のある団体は平成22年12月現在で18団体あったが、内部学習的団体が多く、指導する意欲のある人材の確認には至らなかった。</p> <p>パソコン教室を主催する市町村は、中・高校の公開講座を実施した地区も入れ9か所（25%）。住民の情報が集まってこない13か所（36%）。調査目的としたIT支援NPOの育成可能な団体に関しては、見つけることはできない厳しい状況である。</p> <p>資格保有者の活躍の場であるICTスクールみやぎを立ち上げに向けて、団体事情を確認するなど準備を行った。今後、ICTマスターが市民に向けたPC指導を推進するとともに、多様なニーズに対応するスキルを持つNPOのネットワーク参加を模索する必要がある。</p>

(3) ライフサポーター養成セミナー（主催：地域創造ネットワークジャパン）

事業名	ライフサポーター養成セミナー
主催	特定非営利活動法人地域創造ネットワーク・ジャパン
共催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 連合宮城 中央労福協
目的	LS（総合的な福祉の民間版ソーシャル・ワーカーの役割を果たす、相談対応、関係機関のネットワークづくり、地域の中で足りないサービスを作り出すなどの生活応援・総合相談員）を養成する
実施概要	開催日時：11/30 13時開講～12/2 12時閉講 会 場：ハーネル仙台 会議室 募集人数：NPO等一般10～20人 連合・労福協等20人 参加対象：困っている人の支援をしたいと思っている人 地域での支援機関のネットワーク形成に取り組む意欲のある人 ワンストップサービスの担当者、NPOの相談員 など 参加費：NPO・一般 20000円 講師： 田中尚輝氏（地域創造ネットワーク・ジャパン） 大山正博氏（仙台いのちの電話研修担当） 後藤千鶴子氏（ゆめつむぎ） 中村祥子氏（グループゆう） 大久保朝江（杜の伝言板ゆるる） 参加人数：12名
成果課題	今回は、主催団体からの要請にこたえる形で、地元共催団体として取り組んだ。初めての「ライフサポーター養成」のため、養成後の活動内容が確認できず、広報が後手になった。しかし興味を持った市民活動団体へ出向き、実際に代表等に会ったことで、参加者につながった例もあった。今後、養成講座受講生の活動のサポートをどうしていくのか、示されていない。

(4) 情報セキュリティサポーター育成講座 in 仙台（主催：日本ネットワークセキュリティ協会）

主催	NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
共催	セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）
協力	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目的	多くの個人情報扱う団体の担当者、特に指定管理を担うNPOが、セキュリティの重要性を認識して意識を高め、各団体のセキュリティ向上を目指す。地域におけるセキュリティサポートを担う人材育成を図る。
実施概要	開催日時：平成22年1月30日（土）10：00～17：00 会場：みやぎNPOプラザ 第二会議室 参加対象：多くの個人情報扱う団体の担当者、関心のある市民 参加費：1,000円（受講料・教材費・検定料含む） 参加者数：25名（申込26名／1名当日欠席） 講師：下村 正洋氏（セキュリティ対策推進協議会代表／NPO日本ネットワークセキュリティ協会事務局長／株式会社ディアイティ 代表取締役社長） 【プログラム】 1. 第2次情報セキュリティ基本計画とサポート 2. 講義と実習（基礎知識） 3. 講義と実習（脅威と被害、安全・安心対策） 4. SPREADサポーター検定試験 5. サポーター共有サイト、2012年の姿

成果 課題	<p><b>SPREAD 協働団体として広報及び集客、会場準備に協力した。</b></p> <p>ホームページやチラシ等で一般市民に広報した他、個人情報扱う公の施設指定管理を担う NPO に直接呼びかけたところ、定員 20 名を超える参加者を得ることができた。</p> <p>また既に市民向けに IT 指導を行っている IT 支援 NPO ネットワーク宮城との連携により、メンバーの人材育成に貢献した。</p> <p>また感染確認や駆除及び防止する為の情報提供の場となった。</p> <p>最後に検定試験を実施し、知識確認を行う事ができた。また受験した 25 名のうち 20 名が合格した。</p> <p>今後は、合格した方の活躍の場を創出することや、フォローアップセミナーを開催する事が課題である。</p>	
----------	--	--

- (5) 会員のNPOや連携している団体からの依頼や、名義後援のイベント等の資料を月刊ゆるる送付時に同封

会員関係：6 団体 9 件      支援・協力団体：4 件

(6) 名義後援

- ・『風人の祭 2009・仙台』実行委員会      『風人の祭 2009・仙台』(9/16)
- ・宮城県社会福祉協議会      「災害ボランティアシンポジウム」(2/11)
- ・特活 LEAF26 生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) 開催記念  
みやぎ自然観察会及び基調講演会 (3/1~10/29)
- ・大國神社の山野草を守る会 第 5 回かたくり祭 (4/6~4/30)

## 8. 宮城県民間非営利活動プラザの管理運営

### (1) 施設管理

#### ①施設利用状況

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	シヨップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
合計	115	9	9,477	2,752	1,809	575	280	842	82	12,576	371	2,153	3,532	1,782	3,612	898	5,497	46,362
前年累計	100	—	8,169	2,609	1,425	727	284	738	74	11,527	271	1,932	3,820	1,701	3,548	2,431	4,420	43,776

※NPO相談には専門相談を含む

#### ②貸会議室利用状況

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
累計	274	5,368	1,117	154	2,601	691	186	1,289	532	167	1,324	589	230	1,994	784	1,011	12,576	3,713
前年累計	238	4,674	960	132	2,368	531	178	1,375	469	173	1,320	501	203	1,790	713	924	11,527	3,174

③コピー機・印刷機

	コピー機				印刷機				
	モノクロ (枚)	カラー (枚)	合計 (枚)	トナー (本)	利用件数 (件)	製版数 (枚)	印刷枚数 (枚)	インク (本)	マスター (本)
合計	21,260	4,670	25,930	6	1,512	7,701	2,453,835	155	31
前年累計	24,875	5,028	29,903	6	1,563	8,722	2,314,981	121	36

④施設見学 22件 合計115名

⑤ヒアリング対応 6件 合計9名

⑥利用者懇談会

実施日時	9月16日(水) 18:30~20:40
参加者数	12名(利用者6名、宮城県2名、プラザスタッフ4名)
実施日時	2月18日(木) 14:00~15:30
参加者数	18名(利用者12名、宮城県2名、プラザスタッフ4名)

(2) 企画事業実施状況

①NPOの運営一般及び税務・会計に関する専門相談

・会計相談 16件 雇用相談 4件 ボランティア相談 35件

設立・運営相談 46件 計101件

NPOのための窓口相談件数(合計216件)

②NPOの運営一般に関する研修(マネジメント講座)

みやぎNPOプラザ 6講座

出前講座(登米市・柴田町・気仙沼市) 4講座

③NPOの税務・会計に関する研修(会計・税務講座)

みやぎNPOプラザ 6講座 出前講座(石巻市・大崎市) 2講座

④NPO支援連携事業

NPO・市民活動情報交換会

大河原町・石巻市・大崎市にて開催。

(3) 50歳からのNPO実践塾

シニアが社会活動に参加していくための学びと実践をする塾。

①第2~4期実践塾

	第2期(全5回)	第3期(全6回)	第4期(全5回)
実施回数 実施日程	4/25(土)・5/16(土)・5/30(土) 6月中の希望日・6/20(土) ※④以外は14:00~16:00	9/12(土)・9/26(土)・10/3 (土)・10/17(土) 10~11月中の希望日・11/28(土) ※⑤以外は14:00~16:00	1/23(土)・2/6(土)・2/20(土) 2・3月中の希望日・3/27(土) ※④以外は14:00~16:00
参加人数	8名	12名	11名

②フォローアップセミナー

開催日:8月22日・12月12日

(4) NPO・ボランティアに関する情報収集と発信

①みやぎNPO情報ネット

・更新件数

	訪問者数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県促進室	国・宮城県各課・市町村	その他更新	合計	管理日数
		ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金										
合計	248,395	194	264	510	202	1,454	281	125	24	140	119	10	363	3,686	253

・年次記録

年度	情報アップ数	アクセス数 (トップページ)	アクセス数 (訪問者数)	アクセス数 (セッション数)	閲覧ページ数 (~2008.06)	ページビュー (2008.07~)
13	617	23,298	-	-	-	
14	935	32,840	-	-	-	
15	888	47,878	331,687	-	612,140	
16	918	52,613	197,352	-	613,557	
17	871	-	217,825	-	568,013	
18	912	-	269,763	-	775,292	
19	757	-	243,979	-	1,298,171	
20	817	-	77,638	122,863	385,672	505,485
21	968	-	-	248,395	-	788,388
累計	7,683	156,629	1,338,244	371,258	4,252,845	1,293,873

②ブログ版みやぎNPO情報ネット

・ブログ更新件数

	新規エントリー数			合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	NPO法人 認証情報	
H21合計	3	157	35	195

③みやぎNPO情報ネット メールマガジン

・発行日：毎月1日(1月のみ4日) ・登録者数：248名

	NPO支援情報 (トピックス)	NPOプラザ からのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
H21合計	63	31	67	54	1	216

④「One to One」発行

- ・発行日：年6回 5・7・9・11・1・3月の1日
- ・発行部数：3,000部
- ・仕様：A3判 2ツ折り カラー1色印刷

⑤「月刊杜の伝言板ゆるる」プラザページ発行

- ・発行日：毎月1日
- ・発行部数：8,000部
- ・仕様：A4判 1ページ カラー1色印刷

⑥NPO発行の図書販売代行

NPOの情報を広く伝えるため、NPOが発行した書籍等を販売代行をしている。

取扱数 4団体 図書数：10冊

(5) 共有スペースを活用した各種交流イベントの企画・運営

①みやぎNPOプラザまつり2009の開催

主 催	みやぎNPOプラザ町内会、宮城県（みやぎNPOプラザ）
後 援	みやぎの区民協議会、河北新報社
日 時	平成21年10月18日（日）10:00～15:00
会 場	みやぎNPOプラザ全館
来場者数	550名（一般来場者450名、参加団体29団体100名）

(6) 県内のNPO支援施設や中間支援組織の機能向上を目的とした研修の開催

NPO支援センタースタッフのためのスキルアップ研修を年3回開催した。

第1回 6月25日

第2回 9月10日

第3回 1月15日

(7) みやぎNPOプラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ評議会設置要綱に基づき、年度内2回開催。

■第1回宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会

開催日時 5月27日（水）10:00～12:00

■第2回宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会

開催日時 1月19日（火）10:00～12:00

9. その他の事業

労働保険事務組合事業

賛同を得る専門家が出現しているが、設立への要件が未成熟のため、進展できていない。